情報基礎　第7回　学籍番号　8223036　氏名　栗山淳

・ウェブページを見るためのソフトをブラウザといい、様々なソフトがある。

・サーチエンジン：　ロボット、クローラーと呼ばれる自動データ収集ソフト

・検索にはAND、OR,NOT検索というものがある。

・Googleの仕組みは内容の正確性よりもたくさんのページからリンクされているページほど検索で上位に現れる。

・検索問題でどうすれば上位に入れるかという技術（SEO）がある。

・SEOに非常に力を入れて内容は他サイトからの転載だけのまとめサイトなど著作権的にグレーなサイトが上位に占めることが増えている。そのため誰が発信している情報なのかを知ることが大事である。

・jpドメイン：日本国内に住所を持つ組織、個人、団体

・サイトを指定して検索：キーワード　site:ac.jp→政府関係のサイトのみ検索

・ネット上の情報の探し方：情報の海から正しい情報とうその情報をみわけるには自ら考える力が必要。

・レポートを説得力のあるものにするには客観的な事実やデータに基づいて考えることが重要。

・データの入手方法：各省庁等のオープンデータや民間企業のデータ

・図書館活用法：OPAC(図書館の蔵書データベース)を使う。

・日本十進分類法：日本で使われている図書分類法

・参考文献について：ネットで探した情報をコピー＆ペーストして適当にアレンジしてレポートを作成することは許されない。特に理工系の学生は勉強よりもまずは倫理観が重要。自分が考えたり、実験して得た事実とネットや本で調べたことを明確に区別して書く。著者名,「書名」、出版年、ページの順番で書く。

・Wikipediaは優れた記事もある一方で明らかな嘘もあり、筆者も不明なので参考文献として使うことはしない方がいい。ただ、調査の出発点としては有用である。英語の方が情報量は多い。

・自分が信頼できる情報にアクセスすることが大事。